

第57回 関西財界セミナー 開催概要

一般社団法人 関西経済同友会
公益社団法人 関西経済連合会

第57回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りとなりましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 基本認識

2025年の国際博覧会(万博)は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西で開催されることが決定しました。国際都市間競争が激化するなか、関西が世界に対して希望に満ちた未来社会像をどのように描くのか、いま、その構想力が求められています。

世界はいま、頻発する異常気象、格差拡大とそれに根差したポピュリズムの浸透、自国第一主義と国家資本主義との対立など様々な問題を抱えています。こうしたなかにあって、企業にはそれらの根源にある課題の解決にどのような貢献ができるかが問われているのではないのでしょうか。AI・IoT・ビッグデータなど革新的な技術や国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)など、新たな潮流のなかで、われわれは経営のあり方を日々見直していかなければなりません。

関西に目を向けると、今後G20、ゴールデン・スポーツイヤーズ、IRの開業、そして万博の開催と、発展の起爆剤となる材料が目白押しです。また、ポスト万博を見据えた交通インフラ整備やまちづくりのあり方、人生100年時代に伴うエイジフリー社会の実現など、長期視点が求められる創造的なテーマにも事欠きません。これらを通じ関西がどのような発信力をもって、その存在を世界に示せるかが問われています。

このような認識のもと、関西経済同友会と関西経済連合会は第57回関西財界セミナーを「いま、試される関西～前進するための条件～」をテーマに開催します。

平成から次の時代へ向かうなか、関西が前に進んでいくための条件は何か、6つの分科会を設け、皆様と2日間の議論を尽くしたいと存じます。

2. 日 時 2019年2月7日(木)・8日(金)
3. 場 所 国立京都国際会館
4. テーマ いま、試される関西～前進するための条件～
5. 主催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会
6. 協力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会
7. 参加者 関西企業のトップ経営者約200名を含む600名程度
主要国の領事館関係者や全国紙の記者も多数参加

8. 2日間のスケジュール

2/7 [第1日]	10:00～10:05	5分	開会(国歌斉唱)
	10:05～10:15	10分	開会挨拶(黒田代表幹事)
	10:15～10:30	15分	主催者問題提起(松本会長)
	10:30～11:40	70分	基調講演 早稲田大学ビジネススクール教授 平野正雄氏 (元マッキンゼー・アンド・カンパニー日本支 社社長、元カーライル・グループ日本共同代表)
	11:45～12:35	50分	昼食
	12:40～17:00	260分	分科会討議(途中、コーヒープレークあり)
	17:10～18:00	50分	交流会
2/8 [第2日]	09:00～12:20	200分	分科会討議(途中、コーヒープレークあり)
	12:25～13:25	60分	昼食
	13:30～14:10	40分	関西財界セミナー賞2019贈呈式
	14:20～15:20	60分	特別講演 法政大学スポーツ健康学部教授 山本浩氏 (元NHKエグゼクティブアナウンサー・解説委員)
	15:30～16:00	30分	分科会議長報告
	16:00～16:10	10分	顧問団代表所感(尾崎会頭)
	16:10～16:15	5分	セミナー宣言採択(池田代表幹事)
	16:15～16:20	5分	閉会挨拶(松本会長)
	16:30～16:50	20分	主催者代表記者会見
	16:30～17:20	50分	懇親パーティ

9. タイムテーブルと各分科会の概要

(敬称略)

2月7日(木)

◆全体会議 [10:00～11:40]

(1)開 会

(2)開会挨拶 黒 田 章 裕 (一社)関西経済同友会 代表幹事

(3)主催者問題提起 松 本 正 義 (公社)関西経済連合会 会長

(4)基調講演

講師：平 野 正 雄 早稲田大学ビジネススクール 教授

(元マッキンゼー・アンド・カンパニー日本支社長、元カーライル・グループ日本共同代表)

演題：今、経営者に求められるモノとは

◆昼 食 [11:45～12:35]

◆分科会討議 [12:40～17:00 / 2月8日(金) 午前に続く]

第1分科会：デジタル社会における価値の変容～企業は、個人は、どう生きるか？～

AI・IoT・ビッグデータなどの普及によるデジタル社会の到来は、人々のライフスタイル、企業のビジネスモデルに新たな変化をもたらしている。加速するデジタル化が、既存社会に与える影響や課題などを考察し、目指すべき方向性について模索する。企業単位の電子化やデジタル化を超え、我々が目指すべきデジタル社会実現に向け、企業、個人が、なすべきことを議論する。またデジタル化が進んだ時の「豊かさ」とは何か考察する。

【議 長】

宮 部 義 幸 パナソニック株式会社 専務執行役員

深 野 弘 行 伊藤忠商事株式会社 常務理事 社長特命 (関西担当)

【セッション構成】

① デジタル社会とは何か？

② デジタル社会における「機会」を掴み取るために

デジタル社会における企業経営～「人間の豊かさ」の実現を目指して～

【問題提起者】

太 田 直 樹 株式会社 NEW STORIES 代表・事業共創プロデューサー

高 島 誠 株式会社三井住友銀行 頭取 CEO

小 川 和 也 グランドデザイン株式会社 代表取締役社長

石 山 洸 株式会社エクサウィザーズ 代表取締役社長

第2分科会：社会課題の解決と企業の力

グローバル資本主義は世界経済の成長を促し、技術革新やイノベーションを生み出す一方、経済格差ももたらし、世界では社会課題が増大、複雑化している。本分科会では、社会の持続可能性を維持するための経済システムのあり方、社会課題の解決と収益の両立について考える。そして、日本企業は本業を通じてどのように社会課題解決に関わるのか、現状の課題と将来のあるべき姿について議論する。

【議長】

伊藤 雄二郎 株式会社三井住友銀行 副会長
古市 健 日本生命保険相互会社 代表取締役副会長

【セッション構成】

- ① SDGs 時代における経済システムのあり方とは
- ② 海外やスタートアップにおける社会課題解決型ビジネスの展開
- ③ 日本企業における社会課題解決型ビジネスの課題と今後のあり方

【問題提起者】

蛭間 芳樹 株式会社日本政策投資銀行
サステナビリティ企画部 BCM 格付主幹 兼 経営企画部、
世界経済フォーラム(ダボス会議) ヤング・グローバルリーダー2015
足達 英一郎 株式会社日本総合研究所 理事
小野田 真二 公益財団法人地球環境戦略研究機関 持続可能性ガバナンスセンター研究員
更家 悠介 サラヤ株式会社 代表取締役社長

第3分科会：エイジフリー社会と企業のあり方を考える

人口減少社会の進展は経済成長と財政健全化の両面で制約要因となっている。これへの対応のため、多様な人材の柔軟な働き方による労働市場への参画と生産性の向上が必要である。本分科会では、エイジフリー（全ての世代の人々が希望に応じて意欲・能力を活かして活躍できる社会）をキーワードに、持続的な経済成長の実現に向けて企業はどうすべきかに焦点をあて、雇用・社会保障・大学教育のあり方を議論する。

【議長】

園 潔 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 取締役代表執行役会長
松野 正人 新日鐵住金株式会社 常務執行役員大阪支社長

【セッション構成】

- ① 人口減少社会の進展と求められる雇用・社会保障制度のあり方
- ② 若者の雇用と教育をめぐる課題と対応
- ③ 65 歳定年制と高年齢者のキャリアデザイン

【問題提起者】

樋口 美雄 慶應義塾大学大学院 商学研究科特任教授
本田 由紀 東京大学大学院 教育学研究科教授
三上 康章 オリックス株式会社 執行役 グループ人事・総務本部長

第4分科会：交通・物流インフラと日本・関西の発展策

広域交通・物流インフラがもたらすヒトやモノの交流・対流は、新たな経済成長の機会を生み出し、日本の持続的な成長に寄与する。関西が自身の強みを生かしながら、アジアのゲートウェイとしてその活力を取り込み、日本の成長を牽引する西の極となるために、中長期的にどのような戦略を持ち今後のインフラ整備・活用を進めるべきか。本分科会では、産業・イノベーション、アジアとの連携、都市づくりなど、様々な観点からインフラのあり方を討議する。

【議長】

八木 誠 関西電力株式会社 代表取締役会長
藤原 崇起 阪神電気鉄道株式会社 代表取締役会長

【セッション構成】

- ① スーパー・メガリージョンの形成による国土の発展
- ② 交通・物流インフラの整備により、西日本各地と共に繁栄する関西
- ③ Look West と関西からの活性化

【問題提起者】

小林 潔司 京都大学経営管理大学院 教授
黒川 純一良 国土交通省近畿地方整備局長
玉岡 かおる 作家

第5分科会：観光×まちづくりで関西をアジアの舞台へ

グローバルな地域間競争に打ち勝ち、関西が持続的に発展するには、世界から人や産業を惹きつける魅力あるエリアとなることが重要である。今後はIR誘致活動も本格化し、うめきた・夢洲・三宮・新大阪の整備など各地域で新たなまちづくりも進む。これらの契機を活かし、関西を「アジアの舞台」としていくため、インバウンドを中心とした観光振興や活力を生むまちづくりについて、2030年を見据えた取り組むべき課題や具体的な方策を議論する。

【議長】

真鍋 精志 西日本旅客鉄道株式会社 取締役会長
難波 正人 株式会社竹中工務店 取締役執行役員副社長

【セッション構成】

- ① 世界の人々を惹きつける関西の都市圏像とは？
- ② 「関西らしさ」を活かした観光振興
- ③ 活力を生むまちづくり～2030年に向けて～

【問題提起者】

久保 成人 公益社団法人日本観光振興協会 理事長
山下 真輝 株式会社JTB 総合研究所 主席研究員
野村 卓也 株式会社スーパーステーション 代表取締役社長、
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策参与

第6分科会：グローバル時代を勝ち抜く経営

AI・IoTなどの技術革新、経済のボーダレス化が進むなか、この1年、大国の政治が世界経済に大きな影響を与えはじめており、企業のグローバル戦略の前提は大きく変わってきている。一方、国内に目を向けると、ものづくりの安全性、高品質、現場を含めた経営の信頼性・矜持を揺るがす企業不祥事が続いている。こうした変化を直視し、「あるべきグローバル化」を問い直し、日本・関西企業がこれからの時代を勝ち抜いていく経営のあり方を議論する。

【議長】

井上 弘 毅 住友商事株式会社 常務執行役員国内担当役員関西支社長
鈴木 博 之 丸一鋼管株式会社 代表取締役会長兼 CEO

【セッション構成】

- ① ポスト平成を見据えた経営とは～変革期の会社像～
- ② 経営者のマインドセットと組織マネジメントのあり方
- ③ これからのグローバル戦略

【問題提起者】

堀尾 博 英 森田化学工業株式会社 専務取締役
吉村 典 久 大阪市立大学大学院 経営学研究科教授、和歌山大学 名誉教授
加留部 淳 豊田通商株式会社 代表取締役会長
羽藤 秀 雄 住友電気工業株式会社 常務取締役

◆交流会 [17:10～18:00]

2月8日（金）

◆分科会討議 [9:00～12:20 / 2月7日（木）から継続]

◆昼食 [12:25～13:25]

◆全体会議 [13:30～16:20]

(1) 関西財界セミナー賞 2019 贈呈式

(2) 特別講演 講師：山本 浩 法政大学 スポーツ健康学部教授
(元 NHK エグゼクティブアナウンサー・解説委員)
演題：スポーツに洋の東西を問う

(3) 分科会議長報告

(4) 顧問団代表所感 尾崎 裕 大阪商工会議所 会頭

(5) セミナー宣言採択 池田 博之 (一社) 関西経済同友会 代表幹事

(6) 閉会挨拶 松本 正義 (公社) 関西経済連合会 会長

◆懇親パーティ [16:30～17:20] (並行して、主催団体トップによる記者会見)

以上